

第 9 回懇談会の主な意見等

<アプローチ・ゾーニング計画について>

○児童生徒や地域住民の出入り口として、東西軸にサブ動線を設けるのは合理的だと思う。

<ラーニングセンターについて>

○小中別々の方がよいのではないか。

○中学生による小学生への読み聞かせなどは、図書室が別々でも運用の中で可能だと思う。

○和泉学園では、小学生に見せられない中学生の本があり、分けて管理していると聞いている。

○小中で共有することで、読書の時間が十分確保できるのか心配である。

○自習スペースや居場所としては、他に個別学習室など静かな環境の部屋があるので小中一体型でも問題ないと思う。

○小中一体型でも管理や運用面で工夫できる。

○小中一緒にすることで、夢のある魅力的なスペースになるのではないか。

また、路上橋と連続させることで、路上橋をうまく活かすこともできると思う。

○広いラーニングセンターがあると、学年単位の総合的学習ができるため便利である。

○メゾネット型にするにしても、安全面を第一に考えてほしい。

○他区の事例を挙げて、具体的に検証するとよいのではないか。

<プールについて>

○小学校でも低中高で水深の調整に時間がかかるため、中学生も一緒になると、手動で水を抜くのは大変なことになり、授業時数が厳しいと思う。

○中学校はプールを分けて男女別で指導している。そこに小学校 1 学年が入ると 1 つの空間で 3 ヶ所同時に指導が行われ、児童生徒の声が錯綜したり、教師の声が通らなかったりして、安全面や運用に支障が出る可能性があると思う。

<その他>

○特別教室を共用にして授業時数が厳しくなることを考えると、小中それぞれに独立していた方がよいのではないか。

○共有出来る教室は共有し、個別に必要な教室は小中でしっかり確保するような設計にしてほしい。